

令和5年度原子力規制庁委託成果報告書

令和5年度原子力発電施設等
安全技術対策委託費
(原子炉等施設に係る国際原子力機関の
安全基準の動向調査) 事業

一般財団法人エネルギー総合工学研究所

令和6年3月

本報告書は、原子力規制委員会原子力規制庁からの委託により実施した業務の成果を取りまとめたものです。

本報告書に関する問い合わせは、原子力規制庁までお願いします。

目次

1. 緒言	1
2. 令和5年度の業務概要	2
3. 令和5年度の業務詳細内容と調査の結果	4
3.1 本事業での検討対象とした安全基準ドラフト等	4
3.2 安全基準ドラフト等への対応のための仮訳の作成等	6
3.2.1 審議する安全基準ドラフトの他の安全基準文書との整合性の整理、 変更箇所の確認	6
3.2.2 審議する安全基準ドラフト等の内容理解及びコメント案作成検討に 資する仮訳の作成	6
3.2.3 ドラフト等に対する NUSSC メンバー国等から提出されたコメントの整理	6
3.2.4 IAEA から提示されたコメント処理表及び改定文書の変更箇所について 確認及び整理	9
3.2.5 加盟国に対する意見照会用のドラフトに対する仮訳の作成、ドラフトの内容及び変 更点の確認	11
3.3 安全基準ドラフト等に対するコメント案の作成	12
3.3.1 ドラフト等に対する技術的かつ専門的な見地からのコメント案の作成及び提出 ...	12
3.3.2 加盟国意見照会用の安全基準ドラフトについての外部の専門家からの意見聴取 ...	12
3.4 調査会の開催	13
3.4.1 調査会の目的	13
3.4.2 調査会の構成	13
3.4.3 調査会の実施	13
4. 結言	16
5. 参考文献	17

1. 緒言

我が国の原子炉等施設に係る基準制度の整備及び基準策定に際し、国際原子力機関（以下「IAEA」という。）等の国際機関における安全基準文書に係る動向を把握し、それらとの整合性等に配慮する必要がある。

IAEA において策定（改定を含む。以下同じ。）される原子炉等施設及び活動に係る安全基準文書（安全要件と安全指針）及び関連文書（以下「安全基準文書等」という。）は、原子力安全基準委員会（以下「NUSSC」という。）及びその上位の安全基準委員会（以下「CSS」という。）において審議が行われる。これらの会合において我が国の意見・知見を安全基準文書等に反映させるためには、継続的に情報整理を行い、安全基準文書等のドラフト及びドラフト策定計画書（以下「安全基準ドラフト等」という。）について意見・情報発信していくことが重要である。

本業務では、原子力規制委員会原子力規制庁（以下「原子力規制庁」という。）が実施する IAEA の安全基準ドラフト等に係る検討作業及び我が国の規制への反映に係る検討作業を円滑に行うため、専門知識を要する支援業務を実施する事を目的としている。

2. 令和5年度の業務概要

(1) 安全基準ドラフト等への対応のための仮訳の作成等

適宜 IAEA ウェブサイト (<http://www-ns.iaea.org/committees/nussc/>) 等において会合の議題及び審議予定のドラフト等を確認し、以下の作業を実施した。

- NUSC 及び CSS で審議される安全基準ドラフト等について、他の安全基準文書との整合性、及びドラフトに変更箇所がある場合にはその確認を行った。
- 審議する安全基準ドラフト等の内容理解及びコメント案作成検討に資するため、ドラフトの公開後1週間を目途に仮訳を作成し、提出した。できるだけ精度の高い仮訳を作成するための方法・体制を工夫した（その内容は3章にて後述する）。仮訳を行う安全基準ドラフト等は原子力規制庁担当官と確認して決定した。
- 安全基準ドラフト等に対して NUSC メンバー国等から提出されたコメントの整理を行った。
- IAEA から提示されたコメント処理表及び改定文書の変更箇所について確認及び整理を行った。
- 加盟国に対する意見照会用の安全基準ドラフトについて、仮訳の作成、安全基準ドラフトの内容及び変更箇所の確認を行った。原子力規制庁担当官から仮訳作成の指示後、3週間を目処に仮訳を提出した。

本事業で検討対象とした文書は、ドラフト（DS）計8件（9文書）、ドラフト策定計画書（DPP）計2件である。以下に文書リストを示す。詳細については3.1節で示す。

- ✓ DS508「原子力発電所の設計における設計拡張状態及び実質的排除の概念の適用に対する安全の適用の評価」¹⁾
- ✓ DS518A「核燃料再処理施設の安全」²⁾
- ✓ DS518B「核燃料サイクル研究開発施設の安全」³⁾
- ✓ DS522「原子炉等施設の耐震安全評価」⁴⁾
- ✓ DS524「原子力発電所の設計の放射線防護側面」⁵⁾
- ✓ DS525「水冷却型原子力発電所の化学分野プログラム」⁶⁾
- ✓ DS528「原子力発電所のレベル2確率論的安全解析手法の開発と適用」⁷⁾
- ✓ DS529「原子炉等施設の立地評価におけるサイト特性調査と公衆及び環境に対する放射線リスクの評価」⁸⁾
- ✓ DS531「原子炉等施設に対する立地及び設計における地盤工学的側面」⁹⁾
- ✓ DPP-DS547 旧名「安全に関する規制機関のための効率的及び効果的な規制経験反映プログラムの開発及び実施」から、NUSC55で名称変更「規制経験フィードバック管理」¹⁰⁾
- ✓ DPP-DS552「地震を除く外部事象に対する原子炉等施設の安全評価」¹¹⁾

(2) 安全基準ドラフト等に対するコメント案の作成

(1)で確認した結果を踏まえ、以下の作業を実施した。

- 安全基準ドラフト等について、技術的かつ専門的な見地からコメント案を作成した。その際、その分野に熟知した外部の複数の専門家から意見聴取を行った。
- コメント案は原子力規制庁担当官から示された期限までに提出した。
- 加盟国意見照会用の安全基準ドラフトについては、NUSSC 会合における安全基準ドラフト等の審議状況を勘案した上で、必要に応じ外部の専門家からの意見をまとめ、原子力規制庁担当官から示された期限までに報告した。

なお、外部の専門家からの意見を効果的に聴取しまとめるため、原子炉等施設（原子力発電所、核燃料サイクル施設及び試験研究炉）の各分野（設計、運転・操業、安全評価等）の専門家で構成された調査会を設置し、委託契約期間中に計 2 回開催した。

3. 令和5年度の業務詳細内容と調査の結果

安全基準ドラフト等への対応のための情報を収集するため、IAEA のウェブサイト을随時確認した（NUSSC Member Area：http://www-ns.iaea.org/committees/nussc/）。

第 55 回 NUSSC 会合（NUSSC55）は 2023 年 6 月 13 日～6 月 15 日にハイブリッド開催され、第 56 回 NUSSC 会合（NUSSC56）は 2023 年 11 月 14 日～11 月 16 日に開催（ストリーム配信あり）された。また、2023 年 5 月 23 日～5 月 25 日に第 53 回 CSS 会合（以下「CSS53」という。）が、2023 年 11 月 28 日～11 月 30 日に第 54 回 CSS 会合（以下「CSS54」という。）が実施された。

3.1 本事業での検討対象とした安全基準ドラフト等

原子力規制庁担当官と協議の上で、本業務で対象とする文書を決定した。その対象文書及び対応する作業内容を表 3-1 にまとめて示す。

表 3-1 本事業での検討対象とした安全基準ドラフト等
○：作業を実施、×；原子力規制庁との協議により作業対象外
－：該当する業務が存在しない、

会合等	DS/DPP	ステップ番号 ※	変更点確認・仮訳作成等	コメント案検討	メンバー国等のコメント整理・検討	IAEA コメント処理検討
CSS53	DS508	12	○	○注1	×	－
	DS522	12	○	○注1	×	－
CSS54	DS524	12	○	○注1	○	－
	DPP-DS547	3	○	○注1	○	－
NUSSC 55	DS524	11	○	○	○	○
	DS528	7	○	○	○	○
	DPP-DS547	3	○	○	○	○
NUSSC 56	DS525	11	○	○	○	○
	DS529	7	○	○	○	○
	DS531	7	○	○	○	○
	DPP-DS552	3	○	○	○	○
加盟国コメント	DS518 A・B	8	○	○	－	－
	DS528	8	○	○	－	－
	DS529	8	○	○	－	－
	DS531	8	○	○	－	－

注 1：検討作業は実施したが、結果としてコメントはなかった

※ ステップ番号

IAEA 安全基準の策定及び審議は、IAEA 事務局及び 5 つの分野ごとの安全基準委員会（SSC）、すなわち、原子力安全基準委員会（NUSSC）、放射線安全基準委員会（RASSC）、廃棄物安全基準委員会（WASSC）、輸送安全基準委員会（TRANSSC）及び緊急時準備対応基準委員会（EPRéSC）の各分野に関する安全基準委員会、そして IAEA 安全基準プログラムを監督する安全基準委員会（CSS）が関与している。（図 3-1 を参照）

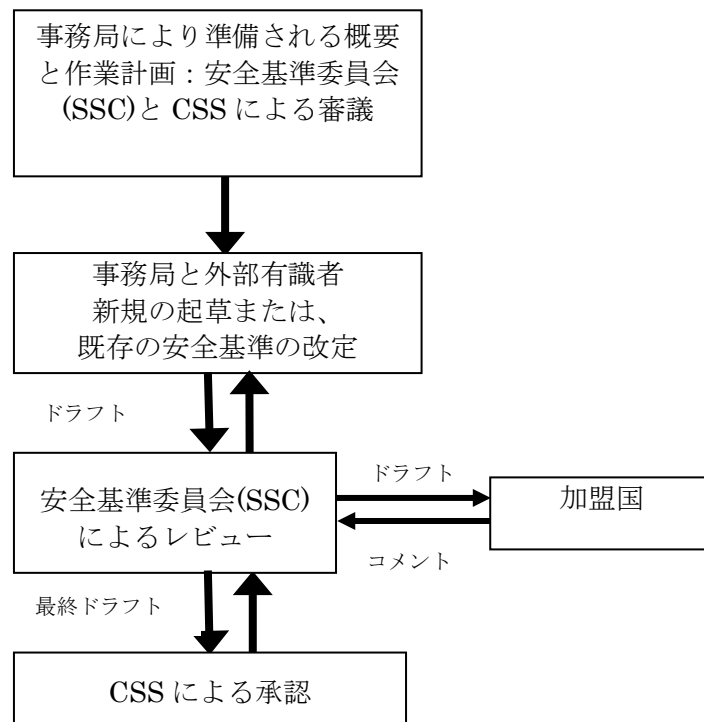


図 3-1 新しい安全基準の策定又は既存のものの改定プロセス

ステップ番号は各文書が上記の改定プロセスのどの段階にいるかを表し、ステップ 3、7、8、11 及び 12 はそれぞれ以下の通りである。

- ステップ 3 : 個別安全基準委員会によるドラフト策定計画書のレビュー
- ステップ 7 : 個別安全基準委員会による安全基準ドラフトの初回レビュー
- ステップ 8 : 加盟国に対する意見照会
- ステップ 11 : 個別安全基準委員会による安全基準ドラフトの 2 回目レビュー
- ステップ 12 : CSS による安全基準ドラフトのレビュー

3.2 安全基準ドラフト等への対応のための仮訳の作成等

3.2.1 審議する安全基準ドラフト等の他の安全基準文書との整合性の整理、変更箇所の確認

他の安全基準文書との整合性を含め、改定の主旨、過去の NUSC 会合等における主要な議論を整理した。さらに必要に応じて、以前に日本が IAEA に提出したコメントへの対応状況の分析をするとともに、同文書の直近のステップからの変更点の確認、さらにその中での技術的に重要な変更点の抽出といった作業を実施し、改定状況を確認するとともにレビューのポイントを分析した。

3.2.2 審議する安全基準ドラフト等の内容理解及びコメント案作成検討に資する仮訳の作成

審議する安全基準ドラフト等の内容理解及びコメント案作成に資するために、ドラフト等の公開後 1 週間を目途に仮訳を作成し、提出した。仮訳提出までの速さが重要であるものの、できるだけ精度の高い仮訳を作成するために、直近のドラフトの仮訳を事前に作成して公開されるドラフトの仮訳のための土台とする、内容に似たところのあるドラフトにおいてはそれぞれの担当者間で相互に訳文の確認を行う、ウェブ上での機械翻訳サービスなどを利用する、また、機械翻訳サービスではうまく訳せない事例を収集し、その対策を構築するなど、方法・体制を工夫した。

3.2.3 ドラフト等に対する NUSC メンバー国等から提出されたコメントの整理

コメントは、NUSC 会合開催の 1 ヶ月程度前に NUSC メンバー国等から提出された。それぞれの安全基準ドラフト等に対するコメント数を表 3-2 に示す。

コメントの整理方法の一例を表 3-3 に示す。同表に示すように、コメント国名（機関名）、その通し番号、コメント対象の場所（章・節・項）、コメントの内容、その理由の順で一覧表とした。その際、標準書式から外れているコメントについては、意味を変えない範囲で補正を実施した。その上で、（章・節・項）の順に並べ替えを行い、さらに、章ごとに見出しを入れることで分かりやすくなるよう工夫をした。

IAEA のコメント処理表がウェブサイトに掲載されてから NUSC 会合までの時間が短いことを考慮し、コメント公開後は速やかに予備評価を実施し、以下の 3 区分で分類整理を行うとともに、その根拠や内容についてのメモを付記した。

- ① Essential : 重要・本質的なもの
- ② Clarification : 文章や語句の意味の明確化
- ③ Wording/Editorial : 誤記訂正、表記上のミス修正

また、CSS54 会合に向けて提出された DS524, DPP-DS547 に対する各国のコメントに関しても、同様にコメントのまとめを行った。

表 3-2 第 55 回、第 56 回 NUSSC 会合及び第 54 回 CSS 会合における
ドラフト等への NUSSC メンバー国等からのコメント数

対象回	対象文書	コメント数合計
NUSSC55	DS524	126
	DS528	255
	DPP-DS547	52
NUSSC56	DS525	67
	DS529	345
	DS531	216
	DPP-DS552	57
CSS54	DS524	47
	DPP-DS547	6

出典：IAEA Draft Standards for Comment Web Folder (<http://www-ns.iaea.org/committees/comments/default.asp>)

表 3-3 NUSSC メンバー国等からのコメントの整理表の例

DS 525

Chemistry Programme for Water Cooled Nuclear Power Plants
 水冷却型原子力発電所の化学分野プログラム
 NUSSCメンバー国等のコメント一覧

rev 2023.10.20

Essentials	Clarification	Wording/Editorial
------------	---------------	-------------------

		COMMENTS BY REVIEWER		RESOLUTION				評価
Comment No.	Para/ Line No.	Proposed new text	Reason	Accepted	Accepted, but modified as follows	Rejected	Reason for modification/rejection	
ENISS	00000 General Comment		Some inaccuracies in Annex need to be corrected.					ANNEXに間違いがいくつかある。 ENISSのコメントにANNEXに関するものが多い
01000 1. INTRODUCTION								
ENISS01	01004 1.4	The chemistry programme comprises the following basic elements: the chemistry regime, chemistry control and chemistry measurements. The chemistry regime is defined by the reactor type and design, the construction materials used, and any requirements placed on the operating chemistry in the plant's safety analysis. The chemistry control confirms that the plant is operated in accordance with the chemistry regime requirements and defines the parameters to be measured, their measurement frequencies, expected-measurement values , graded limit values and corrective actions to be taken if necessary. The chemistry measurements provide information about the actual chemistry conditions in the systems, which in turn serve as	Control parameters have expected <u>values</u> but most diagnostic parameters are not associated to any expected value.					2 制御パラメータには期待値があるが、診断パラメータには期待値はないとのコメント。

(出典) DS525 “Chemistry Programme for Water Cooled Nuclear Power Plants” NUSSC メンバー国等コメント一覧

3.2.4 IAEA から提示されたコメント処理表及び改定文書の変更箇所について確認及び整理

IAEA のコメント処理表 (resolution) は会合の 1 週間程度前に NUSC のウェブサイトに掲載された。IAEA のコメント処理表が公開され次第、あらかじめ予備的に実施していた分類 (3.2.3 節参照) の見直しを行うとともに、重要なコメントについては、その内容や分類の理由を追記した。整理表の例を表 3-4 に示す。IAEA からのコメント処理表は、「Accepted : 承認」、「Accepted, but modified as follows : 一部修正して承認」、「Rejected : 否認」の 3 つに分類されるとともに、その理由が記載される。ただし、単純な承認の場合など、チェックマークが入るだけのこともある。

表 3-4 IAEA のコメント処理表と評価の例

DS 525

Chemistry Programme for Water Cooled Nuclear Power Plants
 水冷却型原子力発電所の化学分野プログラム

rev 2023.10.24

Essentials	Clarification	Wording/Editorial
------------	---------------	-------------------

		COMMENTS BY REVIEWER		RESOLUTION				評価
Comment No.	Para/ Line No.	Proposed new text	Reason	Accepted	Accepted, but modified as follows	Rejected	Reason for modification/rejection	
ENISS	00000 General Comment		Some inaccuracies in Annex need to be corrected.					ANNEXに間違いがいくつかある。 コメント処理表では無回答 ENISSのコメントにANNEXに関するものが多い
01000 1. INTRODUCTION								
ENISS01	01004 1.4	The chemistry programme comprises the following basic elements: the chemistry regime, chemistry control and chemistry measurements. The chemistry regime is defined by the reactor type and design, the construction materials used, and any requirements placed on the operating chemistry in the plant's safety analysis. The chemistry control confirms that the plant is operated in accordance with the chemistry regime requirements and defines the parameters to be measured, their measurement frequencies, expected-measurement values , graded limit values and corrective actions to be taken if necessary. The chemistry measurements provide information about the actual chemistry conditions	Control parameters have expected values but most diagnostic parameters are not associated to any expected value.	X	, expected measurement values when deemed valuable,...			2 制御パラメータには期待値があるが、診断パラメータには期待値はないとのコメント。 修正して受入 (1.5 項) 消去ではなく、「価値があるとみなされる場合」に限定することとされた。

(出典) DS525 “Chemistry Programme for Water Cooled Nuclear Power Plants” NUSSC メンバー国等コメント処理表

3.2.5 加盟国に対する意見照会用のドラフトに対する仮訳の作成、ドラフトの内容及び変更点の確認

DS518 A・B は、2023 年 4 月に、加盟国意見照会用ドラフトが IAEA のウェブサイト (<https://www.iaea.org/resources/safety-standards/draft-standards-for-ms-comment>) に掲載され、内容及び変更点の確認及び仮訳作成を実施した。

また、2023 年 6 月に開催された NUSSC55 において、DS528 の加盟国コメント回付が承認され、加盟国意見照会用ドラフトが 2023 年 7 月に同ウェブサイトに掲載された。そのドラフトに対して、内容及び変更点の確認及び仮訳作成を実施した。

2023 年 11 月に開催された NUSSC56 において、DS529、DS531 の 2 文書について加盟国コメント回付が承認され、加盟国意見照会用ドラフトが、DS529 に関しては 2024 年 1 月に、DS531 に関しては 2023 年 12 月に、同ウェブサイトに掲載された。そのドラフトに対して、内容及び変更点の確認及び仮訳作成を実施した。

これらの結果については、作成後速やかに原子力規制庁に提出した。

3.3 安全基準ドラフト等に対するコメント案の作成

前節で確認した結果を踏まえ、以下の作業を実施した。

3.3.1 ドラフト等に対する技術的かつ専門的な見地からのコメント案の作成及び提出

NUSSC 会合における審議の対象となる安全基準ドラフト等は、原則として会合の 2 か月以上前に NUSSC のウェブサイトに掲載され、コメント期限はその 1 か月程度後に設定される。ただし、IAEA 内でのドラフト等の準備状況に応じてその時期は前後する。さらに、ドラフト等が NUSSC 以外の委員会（WASSC, RASSC 等）でも審議される場合、その会合日程も考慮してコメント期限が決定されるため、ウェブサイトでの掲載時期、コメント期限までの期間については、これらの委員会の日程も勘案して期限を把握したうえで作業を進める必要がある。このような状況の中、以下の業務を迅速に実施した。

3.2 節の内容確認結果を踏まえ、文書の概要、改定の主旨、これまでの経緯、チェックのポイントなどに関し、専門家からの意見聴取のための調査会（詳細は 3.4 節参照）のメンバーの理解を支援する資料を作成し、安全基準ドラフト等及びその仮訳とともに調査会メンバーに送付した。

原則として調査会の 1 週間程度前までに調査会メンバーからのコメントを集約した。その間、当研究所においても文書の精査を行い、事務局としてのコメントを検討した。調査会メンバーからのコメントと事務局のコメントを統合・整理し、必要に応じてコメント者にコメントの主旨・内容の確認を行った。

取りまとめたコメント素案全体の質・量を踏まえ、議論ポイントの明確化や優先順位付けを実施し、調査会の主査及び原子力規制庁担当官と協議し、調査会の議題を確定した。

調査会を実施し、その内容を踏まえてコメント素案を修正の上、コメント案として原子力規制庁に提出した。

3.3.2 加盟国意見照会用の安全基準ドラフトについての外部の専門家からの意見聴取

3.2.5 節で示した 5 文書（DS518 A・B、DS528、DS529、DS531）に関して、外部の専門家である調査会メンバーを対象に意見聴取を行い、その意見を取り入れつつコメント案としてまとめ、原子力規制庁に提出した。

3.4 調査会の開催

3.4.1 調査会の目的

1 章で述べたとおり、IAEA の安全基準ドラフト等の審議のための会合（NUSSC、CSS など）において我が国の意見・知見を反映させるためには、継続的に情報整理を行うとともに、安全基準ドラフト等について意見・情報発信していくことが重要である。そのためには各分野の専門家の意見を広く聴取することが有効であり、専門家に個別にヒアリングするよりは、各分野の専門家を集めた枠組みを作成してその中で継続的に議論することが有効である。そこで、原子炉等施設の各分野の専門家で構成された調査会を設置し検討を行うこととした。

3.4.2 調査会の構成

本調査会は、以下のように対象施設、分野とも幅の広い対応をする必要がある。

- 対象施設：原子炉等施設（原子力発電所、核燃料サイクル施設、試験研究炉）
- 対象分野：設計、運転・操業、安全評価等

これらの要件に配慮しつつ、調査会は、令和4年度と同様に以下の構成とした。

- 大学関係者：幅広い知見を有し、技術中立性のある専門家（2名程度）
- 試験研究炉・核燃料サイクル施設関係者：試験研究炉・核燃料サイクル施設の運転（操業）・管理の経験を有する専門家（3名程度）
- 電気事業者：運転経験を踏まえた意見を持ち、同業関係者の意見を集約できる専門家（PWR・BWR 各1名程度）
- プラントメーカー：プラント設計についての幅広い知見を有するとともに、社内関係者の意見を集約できる専門家（3社程度、各社1名程度）

3.4.3 調査会の実施

(1) 調査会の運営の概要

調査会は、第55回及び第56回のNUSSC会合に対して1回ずつ、合計で2回開催した。調査会では、主に事前に取りまとめたコメント案について討議した。

調査会の開催時期については、文書の量や、コメント提出の締め切りの時期に幅があることなどに留意して、可能な限り実効性が高い議論ができるように設定した。調査会開催に先立って、議論すべきポイントを整理し、必要に応じて議論対象とするコメントを絞り込むなど、調査会での審議が円滑に進むよう配慮した。また、調査会開催前には調査会の主査への報告と意見交換を実施した。

(2) 調査会概要

各調査会の内容は以下のとおりである。

1) 第1回調査会

- 日時 2023年5月9日(火) 10:00～12:00
- 場所 オンライン開催(WebEx 利用)
- 出席者 専門家10名、事務局6名
- 議題
 - ✓ 開会挨拶・委員紹介
 - ✓ NUSSC55の概況・調査会の進め方
 - ✓ 文書に対する状況説明・コメント案の検討
 - ✓ 加盟国コメントの状況
 - ✓ 今後の予定
- 主な内容

第55回 NUSSC 会合で審議される文書のうち、以下の3文書に対するコメント案の検討を行った。具体的には、事務局の準備したコメント案(3.3.1 節参照)について、コメント要否を含めてコメント内容の議論を行い、コメントするものについては内容の精査を実施した。その上でコメント案を原子力規制庁に提出した。

 - ✓ DS524「原子力発電所の設計の放射線防護側面」
 - ✓ DS528「原子力発電所のレベル2 確率論的安全解析手法の開発と適用」
 - ✓ DPP-DS547 旧名「安全に関する規制機関のための効率的及び効果的な規制経験反映プログラムの開発及び実施」

2) 第2回調査会

- 日時 2023年9月27日(水) 13:00～15:00
- 場所 オンライン開催(WebEx 利用)
- 出席者 専門家11名、事務局6名
- 議題
 - ✓ 開会挨拶
 - ✓ 委員の交代について
 - ✓ 文書に対するコメント案の検討
 - ✓ 今後の予定
- 主な内容

第56回 NUSSC 会合で審議される以下の4文書に対するコメント案の検討を行った。実施内容は第1回と同等である。また、DS528の加盟国コメントに関しても簡単にコメント案の説明を行った。

 - ✓ DS525「水冷却型原子力発電所の化学分野プログラム」

- ✓ DS529「原子炉等施設の立地評価におけるサイト特性調査と公衆及び環境に対する放射線リスクの評価」
- ✓ DS531「原子炉等施設に対する立地及び設計における地盤工学的側面」
- ✓ DPP-DS552「地震を除く外部事象に対する原子炉等施設の安全評価」

4. 結言

原子力規制庁が実施する IAEA の安全基準ドラフト等に係る検討作業及び我が国の規制への反映に係る検討作業を円滑に行うための支援業務を実施した。

（１）安全基準ドラフト等への対応のための仮訳の作成等

NUSSC 及び CSS で審議するドラフト等について、他の安全基準文書との整合性の整理、変更点の確認を行うとともに、仮訳の作成を行った。また、ドラフト等に対して NUSSC メンバー国等から提出されたコメントの整理をするとともに、コメント処理表及び改定文書の変更箇所について確認及び整理を行った。加盟国に対する意見照会用のドラフトについては、仮訳の作成、ドラフトの内容及び変更箇所の確認を行った。

（２）安全基準ドラフト等に対するコメント案の作成

（１）の結果を踏まえ、安全基準ドラフト等について、技術的かつ専門的な見地からコメント案を作成し、原子力規制庁に提出した。その際、その分野に熟知した外部の複数の専門家から意見聴取を行った。加盟国意見照会用の安全基準ドラフトについては、NUSSC 会合におけるドラフトの審議状況を勘案した上で、外部専門家からの意見をまとめ、コメント案を作成し、原子力規制庁に提出した。コメント案の作成に関する外部専門家からの意見聴取に際しては、各分野の専門家 10 名からなる調査会を設置し、第 55 回、第 56 回 NUSSC 会合の前にそれぞれ 1 回ずつ、合計 2 回開催した。

5. 参考文献

- 1) DS508: Assessment of the Safety Approach for Design Extension Conditions and Application of the Practical Elimination Concept in the Design of Nuclear Power Plant, ステップ 12, 20 January 2023.
- 2) DS518A: Safety of Nuclear Fuel Reprocessing Facilities, ステップ 8, 20 February 2023.
- 3) DS518B: Safety of Nuclear Fuel Cycle Research and Development Facilities, ステップ 8, 20 February 2023.
- 4) DS522: Evaluation of Seismic Safety for Nuclear Installations, ステップ 12, 27 February 2023.
- 5) DS524: Radiation Protection Aspects of Design for Nuclear Power Plants, ステップ 8, 22 August 2023.
- 6) DS525: Chemistry Programme for Water Cooled Nuclear Power Plants, ステップ 11, 19 October 2023.
- 7) DS528: Development and Application of Level 2 Probabilistic Safety Assessment for Nuclear Power Plants, ステップ 8, 22 June 2023.
- 8) DS529: Investigation of Site Characteristics and Evaluation of Radiation Risks to the Public and the Environment in Site Evaluation for Nuclear Installations ステップ 8, 28 December 2023.
- 9) DS531: Geotechnical Aspects in Siting and Design of Nuclear Installations ステップ 8, 14 November 2023.
- 10) DPP-DS547: Regulatory Experience Feedback Management ステップ 3, 22 November 2023.
- 11) DPP-DS552: Safety Evaluation of Nuclear Installations for External Events Excluding Earthquakes ステップ 3, 11 October 2023.

(注意) 上記参考文献のうち、ドラフト (DS) やドラフト策定計画書 (DPP) は、NUSSC Member Area (<http://www-ns.iaea.org/committees/nussc/>) において、期間限定で掲載されているものである。